



キリストは、私たちのために、ご自分のいのちをお捨てになりました。
(ヨハネ第一の手紙 3 : 16)

工藤篤子メールマガジン172号 2011.04.22

●変化

お元気でいらっしゃいますか？

4月14日、無事日本に到着しました。飛行機は乗客が少なく、被害のなかった大阪に到着しても、「前とは違う日本」を感じました。この受難週、日本の痛みと苦しみを、主が十字架で負ってくださり、また今も共に担ってくださっていることを思わされています。今年は、格別に、十字架の御苦しみと神のご愛が心に迫り来る受難週を過ごしています。被災地の方々には、今日も主の助け、励まし、慰めが共にありますように！

4月2日、ハンブルク日本語教会が主催したチャリティーコンサートのためにお祈りくださり、ありがとうございました。コンサートは大変祝され、約4400ユーロ（約53万円）の献金が捧げられました。詳しい報告は、ニュースレター42号に掲載させていただきましたので、他の記事と合わせてお読みください。

<http://atsukokudomm.com/pdf/newsle42.pdf>

●変化(聖書を読む)

2月のメルマガでもお分かちさせていただいたように、一日の始まりに、詩篇を読み祈り賛美する新しい生活を始めるようになりました。また最近になって、聖書の読み方を大きく変えました。一か所を、じっくり時間をかけて読む、という読み方です。そのため、何とか数年間で聖書全体をひと通り学ぼうとしていた、駆け足気味の歩みに歯止めがかかりました。というのは、一字一句をじっくり読むには、ほんとうに時間がかかるからです。けれども、一か所にとどまることから、今まで見えなかったものが見えてくるようになりました。神のみこころ、思いが、生きたことばとして、心に染み入るように響いてくるようになりました。何よりも、この時が、実に楽しく素晴らしいひと時になりました。その中で、思わされたところ、深く語られたみことばなどをメモし、その手帳を持ち歩いて、仕事の合間に開くようにしています。

「信仰生活 27 年目にして、やっと聖書の読み方が分かってきた」、そんな思いであります。主は、今、ここ数年間の「聖書の学び」の時から「聖書を読む」という生き方へ導き入れてくださいました。みことばに立ち止まるなら、主がこれほどまでに語ってくださることを知り、深い感動を覚えています。大変お世話になった、今は亡き神学者の F 先生が、いつも「みことばに聴きなさい」と言っておられた意味が、今になって分かるようになりました。急がしさの中、神のみ声に耳をすまし、主と語り合うひとときを、何よりも大切にして行きたいと思っています。

●イースター・コンサート

4月24日、大阪の北浜チャーチで、「イースター・コンサート」を予定しています。

今回は、ピアノの野田常喜さんの他に、急遽、優れたコントラバシストの小林秀美さんが共に演奏してくださることになりました。

小林さんは、オーケストラの一番大きな楽器であるコントラバスを、深い音色と女性らしい優しさをもって、情緒豊かな演奏をされる方です。また、この4月に、CD「心の響き」をリリースされました。バッハの「アリオソ」、アメイジング・グレイス、野田常喜さんの「いのちの泉」などが収録された素晴らしいCDです。24日、3人で心を合わせて賛美させていただけるのを楽しみにしているところです。大阪近辺の方には、知人、友人をお誘いの上、是非ご来場いただけますなら嬉しく思います。

この受難週、私の罪のために苦しまれ、十字架にかけられた主の御苦しみの跡を辿りたいと思っています。十字架のもとで、深い悔い改めと感謝を捧げ、



24日のコンサートでは、復活の主に、まことの賛美を捧げさせていただきたいと願っています。また、この者が、キリストの死と復活をはっきりとお伝えすることができますように、たましいの救いのために、主が来場者の心に深くお語りくださるひとときとなりますようお祈りください。

●今後の予定

4月24日(日) 北浜チャーチ イースター・コンサート 14:00~

連絡先 : Tel. 06-6226-1334 <http://www.j-ibc.ne.jp/>

5月22日(日) 泉北ニュータウン教会 40周年記念コンサート 14:00~

連絡先 : 072-291-3222 <http://www1.odn.ne.jp/senboku-ntc/>

23日(月) ~30日(月) 台湾コンサートツアー

24日(火) 台北、雙連三芝老人ホーム 14:00~17:00

25日(水) 台北、雙連教会松年大学 10:00~12:00

27日(金) 台中、水湍教会 19:00~

29日(日) 台北、艋舺教会 10:00~、雙連教会賛美集会 19:30~

イエス様の十字架の愛が溢れる受難週を過ごされますように。

主の祝福をお祈りしています。

Atsuko Kudo

